

第1回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

- 日時 令和2年7月10日（金）午後3時～
 - 場所 宮津市役所 別館3階 第5会議室
 - 出席者 （11名中11名）
 - 谷口 知弘（福知山公立大学地域経営学部地域経営学科教授）
 - 今村友里子（舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科講師）
 - 谷口 政史（宮津商工会議所副会頭）
 - 高松 和子（宮津市子育て支援センターセンター長）
 - 井上 真哉（京都府建築士会宮津支部常任幹事）
 - 藤本 長壽（宮津市自治連合協議会副会長）
 - 今中 睦美（宮津市農業委員会委員）
 - 小倉 信彦（一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社天橋立地域本部本部長）
 - 黒岡 芳子（宮津市地域女性の会会長）
 - 嶋崎 豊（宮津市水産振興会会長）
 - 小野 孝司（京都府丹後土木事務所技術次長）
- ※代理 小寺 睦男 企画調整課長
-

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 議 事

（1）宮津市都市計画マスタープラン策定委員会委員長の選出について

【結果】推薦により選出 委員長：谷口知弘委員 副委員長：小倉信彦委員

（2）都市計画マスタープランについて

（3）宮津市の都市計画について

（4）宮津市都市計画マスタープラン等の見直しについて

事務局より説明の後、委員による意見交換

【意見交換概要】

＜策定委員会の進め方について＞

- ・見直しにあたっては、事務局が作ってきた案を基に、日々感じていることなどから、まちづくりについて議論をし決めていく。
- ・何を議論し、何を意見すればいいのかわかりにくいいため、宮津らしいまちづくりに向け、議論のポイントを明確にすることが必要。

＜総合計画について＞

- ・総合計画策定委員会において議論されている内容の把握が、都市計画マスタープランの見直しにおいて必要。
- ・必要に応じて、総合計画策定委員会のほうにも、こちらの議論の内容について情報提供すること。

＜都市計画について＞

（全般的なこと）

- ・都市計画マスタープラン、都市計画の規制について、あまり知られていないため、周知が必要。

（土地利用規制について）

- ・規制、制限をかけると、まちなみの見た目は良くなるが、人が住まなくなっていく。これらのバランスをとることが重要。
- ・都市計画区域であることや用途地域の指定があることで、受ける規制により宮津市から与謝野町に出て行った方がいるという事実を認識する必要がある。
- ・景観の規制と、防火の規制のバランスについて、検討すべきでないか。
- ・本当に守るべきものはしっかり守り、あとは緩やかなルールでという選択も必要と感じる。

＜景観について＞

- ・宮津らしい古い街なみや舟屋など、そういうものを大事にする都市計画マスタープランになればと思う。
- ・宮津にとっては、景観は大事なこと。

＜その他＞

- ・「宮津は良いところ」と次の世代の子どもたちに誇れるまちを目指すことが大事。
- ・おいしい魚を観光客に届けたい。伊根町に多くの観光客が流れているように感じる。連携をしていくなどの対策が必要。
- ・子育てのしやすいまちづくりや住んでいる人が住みやすいまちづくりは大事。
- ・空き家の問題について、移住者をどう捕まえるかが大事になってくると思う。